

第92回静岡県中央メーデー宣言

今日5月1日、第92回静岡県中央メーデーの日を迎えました。私たちのメーデーは、たたかう労働者の歴史と伝統を踏まえ、団結と国際連帯の流れを受け継ぐもので、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」と毎年、運動を積み重ねてきました。

新型コロナウイルスの猛威が止まらず、第4波の感染拡大になっています。4月以降、変異株の拡大で大阪府をはじめとして、全国で感染者が増え続け、ワクチン接種は医療関係者、高齢者と開始されましたが、思うように進んでいない状態です。時短営業の飲食店などでは、大打撃を受け、廃業の危機となっています。

安倍・菅政権はPCR検査を増やさず、逆に「GO TO」キャンペーンで感染拡大をさせるなど全く危機管理が欠如しています。これに対し、私たちは国民一人ひとりの10万円の給付金、雇用調整金の拡充、持続化給付金、エッセンシャルワーカーへの慰労金など不十分ながら実現させ、さらに大企業非正規労働者への休業支援金、教育関係者の運動が実を結び小学校での35人学級を実現させました。コロナ禍を理由にした解雇や雇止めに対し、労働相談に応じ、会社との粘り強い交渉を重ねています。

コロナ対策ばかりでなく、菅首相は、口では「国民のための政権」と言いながら、学術会議の任命拒否、後期高齢者医療の窓口2割負担、マイナンバーカードの普及・個人情報民間利用の促進を狙うデジタル庁創設、東北新社・NTTなど接待・行政の私物化、軍事予算を過去最高の5兆4900億円に増加させたこと、1月22日に発効された国連核兵器禁止条約を批准しないこと、福島原発汚染水の海洋放出など、国民のいのちと暮らしを守らない政権と言えます。今年10月までに行われる総選挙では菅政権を倒し野党連合政権を実現させる必要があります。リニア建設反対、浜岡原発廃炉を目指し、6月の静岡県知事選挙では私たちの願いに応える知事の実現を目指します。

コロナ禍で解雇・雇止め、大量の希望退職、相次ぐ中小企業の倒産・廃業の急増など国民のくらしと雇用、経営の危機に直面しています。一方、大企業はコロナ禍でも内部留保を増やし続け、実に459兆円に達しています。

私たちは、21国民春闘で「くらしと雇用の確保」「十分な補償」「コロナ禍だからこそ、生活改善につながる賃上げ・底上げ」を全面に掲げ、取り組んでいます。消費税5%に引き下げ、ハラスメント禁止、ジェンダー平等など課題はありますが、息高く、苦難に立ち向かい、要求実現を目指すことをみんなで確認し、第92回静岡県中央メーデーの宣言とします。第92回静岡県中央メーデー万歳！

2021年5月1日

第92回静岡県中央メーデー